





Ethernet Board

Gigabit PCIバス イーサネットボード

LD-1000/SX

1000BASE 🛞

OSごとの 導入手順フロー 4・5ページ
必ずお読み ください
取り付ける 17ページ
Windows 98 で使う
Windows NT 4.0 で使う
必要に応じて お読みください

User's Manual

Gigabit PCIバス イーサネットアダプタ

LD-1000/SX

User's Manual ユーザーズマニュアル

ご注意

- ●このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただき ます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- ●本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ●本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートは行っておりません。
- ●Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマ ニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。 本文中における®および™は省略させていただきました。

■ 🔳 はじめに 🔳 ■

この度は、弊社ラニード製品Gigabit PCIバス対応イーサネットボード"LD-1000/SX"をお買 い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-1000/SX"をコンピュー タ本体に導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-1000/SX"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り 付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業を行って製品を使 用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

<u> </u>	告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大 けがなど人身事故の原因になります。
注	意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけ がをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。





本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体と周辺機器の電 源を切り、電源プラグをACコンセントから抜いてからおこなってください。 電源プラグを抜かずに作業をすると火災や感電、故障の原因になります。



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。 また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。 けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器 メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。 火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに 電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購 入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、 直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、 ご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感雷、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多 いところで使用しないでください。 火災や感雷、故障の原因になります。



コンピュータ本体のカバーや本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業 をおこなってください。

強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。

本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチー ルデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってくだ さい。

静雷気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用し ないでください。

- · 高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ。
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグ を抜いておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域で の電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用する と、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。こ のマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

OSごとの導入手順フロー





※プラグ&プレイでもドライバディスクやWindowsのオペレーションディスクを挿入する作業 が必要なことがあります。

さい。

23ページの注意をお読みくだ

このマニュアルの読みかた

●用語について

本製品 ……このマニュアルでは、LD-1000/SXを「本製品」と記載しています。

●記号について

記号	意味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明してます。こ の注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあり ます。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
1	キーボード上のカーソルキーを表わします。
Enter	キーボード上のEnterキーを表わします。
スペース	キーボード上のスペースバーを表わします。
Esc A	その他、キーボード上のキーを表わします。

もくじ

安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
OSごとの導入手順フロー ·····	4
このマニュアルの読みかた ・・・・・	6
もくじ ・・・・・	7

1. パッケージの内容を確認する ・・・・・8

2.	製品のサポートとユーザ登録 ・・・・・9		
	製品の保証とサービス ······S		
	ユーザ登録について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10		

З.	本製品の概要について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
	Gigabit Ethernetについて ······11
	本製品の特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
	動作環境について ・・・・・・15

- 4. 各部の名称とはたらき・・・・・16
- 5. コンピュータ本体に取り付ける ・・・・・・・・・・・・17
- 6. Windows 98でのセットアップ・・・・・・19
- 8. その他のOSのインストール ······32
- アダプタのプロパティについて ·······33
 Windows 98 (または95)の場合 ·····33
 Windows NT 4.0の場合 ·····34

付録1.	こんなときは ・・・・・41
付録2.	サポートサービスについて45
付録3.	基本仕様 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが 揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一 不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニー ド・サポートセンターまでご連絡ください。







●保証書

Adap

ē

(LN 28			1
2003/00/01	Ψ	n 0	
5 2 M M	148		
	8 1	1	
1 2 0			- 1
	TD.	< 1	
12/22/2			
1.8.0			
COM 805200 80004	SOCIADOR	X191-40	и.
aegu			



製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料にな ります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについて のご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステ ム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したもの を添えて、下記までご連絡ください。

保証期間内

まずは、ラニード・サポートセンターにご連絡ください。 電話番号 03-3444-5571 FAX番号 03-3444-8205 電話受付 月曜日~金曜日 10:00~12:00 13:00~17:00 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く) ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

保証期間外

東京都八王子市子安町4-19 セキエレクトロニクス株式会社内 エレコム修理ヤンター

- 電話番号 03-5950-4410
- 電話受付 月曜日~金曜日 10:00~12:00 13:00~16:00 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

ユーザ登録について

パッケージの内容の確認が終われば、作業を始める前に、ユーザ登録をおこなっ てください。お客様のユーザ登録は、弊社ラニード・ホームページにてオンライ ンでの登録が可能です。下記のホームページアドレスへアクセスしてください。 また、付属のユーザ登録カードを使っての登録も可能です。必要事項をご記入の 上、ご投函ください。



本製品に関して、ご質問がある場合は、ラニード・サポートセンターまでご連絡 ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL: 03-3444-5571 FAX: 03-3444-8205

受付時間:月~金曜日 10:00~12:00 13:00~17:00 (夏期·年末年始特定休業日、祝祭日は除きます) ※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット:http://www.elecom-laneed.com

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東 京:03-3940-6000 大 阪:06-6455-6000 名古屋:052-453-6000 福 岡:092-482-6000 札 幌:011-210-6000 仙 台:022-268-6000 広 島:082-223-6000



本製品の概要について

本製品の特長や動作環境などを説明します。

Gigabit Ethernetについて

Gigabit Ethernetとは

Gigabit Ethernet(ギガビット・イーサネット)は、伝送速度がFast Ethernetの10倍にあたる1000Mbpsの高速LAN規格です。高速LAN規格には 多くの規格がありますがGigabit Ethernetの最大の特長は、10Mbps EthernetおよびFast Ethernet(100Mbps)によって構築された従来のネッ トワーク資産やネットワークの管理ノウハウを継承しながら、より高速なネット ワークシステムへ段階的にアップグレードできることです。これは、10Mbps Ethernet環境からFast Ethernet環境へ段階的ににアップグレートできたのと 同じです。つまり、Gigabit EthernetならFast Ethernetからのアップグレー ドも、バックボーンなどの主要部分から段階的に導入できるメリットがあります。

Gigabit Ethernetの規格と種類

Gigabit Ethernetは、従来のEthernetと同じCSMA/CDプロトコル、フレーム 形式、フレームサイズが使用可能なため、基本的な仕様は変わりません。この基 本仕様が変わらないことが10/100MbpsのEthernet環境と併用できる理由で す。Gigabit Ethernetは、IEEE802.3zの光ファイバケーブルまたは同軸ケー ブルを使用する規格と、IEEE802.3abのツイストペアのメタルケーブルを使用 する規格の2つに分けることができます。

●Gigabit Ethernetの規格の種類

IEEE802.3z 規格	1000BASE- SX	短波長(850nm)、マルチモード光ファイバを使用 します。伝送距離は500m(コア径50μmの場合 ※)です。本製品はこの規格を採用しています。 Gigabit Ethernetの中では、コストパフォーマン スに優れた方式です。
	1000BASE- LX	長波長(1300nm)、シングルモード/マルチモー ド光ファイバを使用します。伝送距離は5km(シン グルモード/コア径9μmの場合)です。伝送距離が 長いメリットがありますが、機器が1000BASE- TXに比べ高価です。
	1000BASE- CX	2芯平衡型同軸ケーブルを使用します。伝送距離が 最大25mなので、おもに同一室内のGigabit機器を 接続するのに使用します。
IEEE802.3ab 規格	1000BASE- T	カテゴリー5やカテゴリ-5エンハンスドのUTPケー ブルの4対のケーブルをすべて使用して伝送します。 すでに敷設されたUTPケーブルを利用できるメリッ トがあります。

※ケーブル仕様によっては、伝送距離が550mのケーブルもあります。

1000BASE-SXとは

本製品が採用している伝送方式「1000BASE-SX」とは、ケーブルに短波長 (0.85µm)のマルチモード光ファイバを使用する規格で、伝送距離としては比 較的短い距離を想定しています。ケーブルはコア径50µmまたは62.5µmの光 ファイバケーブルを採用しています。コア径50µmは550m程度、62.5µmで は220m程度の範囲で利用できます。長波長を採用している「1000BASE-LX」 のほうが伝送距離が5km程度と長いですが、システム全体のコストが高いという デメリットがあります。その点、「1000BASE-SX」は比較的安価にGigabit Ethernetを実現できます。

●光ファイバケーブルのコネクタ

光ファイバケーブルで機器をつなぐ場合は、コネクタの付いた光ファイバケーブ ルが必要です。このコネクタにもいくつかの種類がありますが、1000BASE-TXでは、2連タイプのSCタイプのコネクタが標準です。

2連タイプのSCコネクタ(弊社製品の例)



1000BASE-SXへの移行するための導入例

Gigabit Ethernet導入初期の例としては、おもに負荷のかかりやすいサーバや スイッチングHUB周辺の帯域幅の確保が考えられます。

●スイッチングHUB間の強化

Fast EthernetのスイッチングHUBどうしをGigabit Ethernetでつなぐことに より、帯域幅の広いスイッチ間リンクを実現します。



●スイッチングHUBとサーバ間の強化

導入のもっとも簡単な例は、10/100MbpsスイッチングHUBとサーバ間を Gigabit Ethernetにアップグレードすることです。トラフィックのもっとも集 中しやすいサーバへの伝送路が1000Mbpsになることで、高速なデータのやり 取りを確保できます。



本製品の特長

●高速!1000BASE-SX対応のGigabitイーサネットアダプタ

100BASE-TX(100Mbps)の10倍、1Gbpsの伝送速度を誇る1000BASE-SX対応のGigabitイーサネットアダプタです。Ethernet(10Mbps)および Fast Ethernet(100Mbps)の上位規格にあたり、従来のイーサネット環境か ら簡単にアップグレードできます。Gigabit用のSCコネクタを採用したスイッチ ングHUBとサーバを接続したり、スイッチングHUBのバックボーンとして使用 することで、トラフィック量の多い経路からイーサネット環境を改善することが できます。10Mbps環境から10/100Mbps環境へ移行するときと同じような感 覚でGigabit Ethernetを導入することができます。

●Windows 2000に対応、Windowsのプラグ&プレイに対応

新登場のOSであるWindows 2000にも対応しますので最新の環境でも安心し て導入できます。また、Windows 2000はもちろん、Windows 98/95のプラ グ&プレイにも対応していますので、わずらわしいハードウェア設定の必要なし にコンピュータにセットアップすることができます。PCIバスに取り付けたあと でWindowsを起動すれば、あとはドライバをインストールするだけの簡単セッ トアップです。

●32bit/64bit PCIバスに対応

現在のPCIバス標準のバス幅である32bitはもちろん、今後登場するバス幅64bit のPCIバスにも対応します。将来、64bitのPCIバス搭載コンピュータを導入する ときもそのまま移行できます。64bitのPCIバスでは、本製品をより高いパフォー マンスで使用することができます。

●光ファイバーケーブルにはSCコネクタを採用

1000BASE-SXでは、ネットワークケーブルとして波長850nmのマルチモー ド光ファイバーケーブルを伝送媒体として使用します。伝送距離はコア径62.5 μmで220m、コア径50μmで500m*もの距離を伝送可能です。ネットワーク ケーブルのコネクタにはデュプレックスタイプのSCコネクタを採用しています。 *ケーブル仕様によっては、伝送距離が550mのケーブルもあります。

●FIFOバッファを内蔵し、効率のよい処理と転送を実現

本製品は96KのFIFOバッファを内蔵しています。FIFOバッファにより先に入っ たデータから先に処理されますので、効率のよい処理がおこなわれ、転送速度を 向上することができます。

●Full Duplex対応で高速データ転送

本製品はFull Duplex(全二重モード)に対応しています。Full Duplex環境は、 データの送信と受信を同時におこなえますので効率のよい伝送路を持ったネット ワーク環境が実現できます。さらに、CSMA/CDプロトコルの特性であるコリ ジョンを回避することにより、パフォーマンスの低下を防ぎます。

動作環境について

本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	IBM PCおよびPC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXで 下記の条件を満たす機種(自作機は除く) ・PCIバスの空きスロットがあること ・IRQの空きがあること
対応OS	Windows 2000%, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0, Windows NT 3.51

※Windows 2000については、付属のドライバディスクの | Win2000」フォルダにある テキストファイルをお読みください。

※弊社ラニード・ホームページにて、本製品に対する最新の対応OSおよびドライバのご案内 をしています。



各部の名称とはたらき

LD-1000/SXの各部の名称とはたらきを説明します。



コンピュータ本体に取り付ける

本製品をコンピュータ本体のPCIバスに取り付けます。コンピュータ本体の種類 によって、カバーの開けかたやPCIバスへのボードの取付方法が異なります。ご 使用になるコンピュータ本体のマニュアルに掲載されているPCIバス用ボードの 取付方法の説明も参考にしてください。

作業を始める前に、コンピュータ本体および周辺機器の電源プラグをACコンセントから必ず抜いてください。本製品の取り付け時に人体が内部回路に触れることがあります。電源プラグを差し込んだままにしてくおと、感電の原因になります。

コンピュータ本体の電源を切った状態で、電源プラグがACコンセントから抜い てあることを確認します。

- **コンピュータ本体のカバーをはずします**。 ・カバーのはずしかたは、コンピュータ本体のマニュアルを参照してください。
- **2** 本製品を取り付けるPCIバススロットを決め、そのスロットカバーをはずします。 ・スロットカバーは通常ネジ止めされています。

イプの光ファイバケーブルを接続します。ケーブルの \bigcirc SCコネクタ 種類については、12ページ「光ファイバケーブルの コネクタ」をお読みください。 HUBなど外部との接続が正常な場合に黄色に点灯し I INK ます。 伝送速度が1000Mbpsで接続されていると緑色に点 1000M 灯します。 LED (2) インジケータ FDX Full Duplexで接続されていると緑色に点灯します。 データの送信時または受信時に緑色に点灯します。 TX/RX データは断続的に送受信されますので、見かけ上は点 滅しているように見えます。

1000BASE-SX対応のデュプレックス(2連)SCタ

3 スロットカバーをはずしたPCIバススロットに、本製品をしっかりと差し込みます。 ・ゆがみのないように、ゆっくりとスロットの奥まで均一に差し込みます。



4 SCコネクタ(2連タイプ)の光ネットワークケーブルを本製品に接続します。



 ・コネクタは送信用と受信用の2つで1組です。接続先の送信側および受信側と ストレートで対応するように接続してください。
 ・対応するケーブルの仕様については12ページ「光ファイバケーブルのコネク タ」をお読みください。

5 コンピュータ本体のカバーを元に戻し、電源プラグをACコンセントに差し込み ます。このあとは、ドライバをインストールします。



Windows 98でのセットアップ

本製品はWindows 98のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows 98を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

セットアップを始める前に、コンピュータ本体のPCIバスに本製品を取り付けて おいてください。

・取り付けの手順は、17ページ「コンピュータ本体に取り付ける」をお読みください。

] コンピュータ本体の電源を入れて、Windows 98を起動します。

2 しばらくすると、PCIバスの新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッ セージが表示されます。

・〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。

3	必要なドライバが表示されます。 をク	リックします 。
	新しいかードシェアの加固カロンダード たの新しいドライバを検索しています: PCI Ethernet Controller デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。	
	《見引(G) 次 八》 キャンセル	

・検索方法を選択する画面が表示されます。

MEMO **コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたとき**



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、 個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコン ピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名 をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名は すべて同じになります。





・ドライバの場所を選択する画面が表示されます。

5 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。





[・]ドライバを検索する画面が表示されます。



- ・ドライバのインストールが始まります。
- MEMO すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを 上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新し いファイルをそのまま使用するようにしてください。

8	お使いの環境によっては、Windows 98のCD-F ジが表示されます。	iOMを挿入するようにメッセー
	ディスクの非入 Windows 98 Second Edition CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して (OK) をクリックして	Windows 98のリビジョンに よってメッセージが変わりま す。対応するCD-ROMを挿入 してください。
	・この場合は、Windows 98のCD-ROMディス し、 をクリックします。	 くクをCD-ROMドライブに挿入
MEMO	Windows 98 CD-ROMが入ったドライブを指定 きは、「ファイルのコピー元」の入力欄にCD-RO ドライブ名のあとに「WIN98」ディレクトリを排	なるための画面が表示されたと Mを入れたドライブ名を入力し、 淀してください。

(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合(小文字でも可)

d:¥WIN98

MEMO すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合は、そのファイルを 上書きするか確認のメッセージが表示されます。このような場合は、日付の新し いファイルをそのまま使用するようにしてください。



ドライバのコピーが終了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。







ネットワーク バスワー	- MWA7J	<u>? X</u>	
	Microsoft ネットワーク へのネットワーク パスワードを 入力してください。	ОК	
		キャンセル	
ユーザー名(山):	yamada		
パスワード(<u>P</u>):			

- ·[ユーザー名]は必ず入力します。
- ・必要であれば、[**パスワード**]を入力します。パスワードは忘れないようにして ください。

これで、Windows 98への本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。

Windows NT 4.0でのセットアップ

すでにWindows NT 4.0がインストールされた状態で、本製品をセットアップする 方法を説明しています。お使いになるコンピュータのシステムにネットワーク設定 が存在するかしないかでセットアップの流れが異なりますので、説明と表示される 画面に注意しながらセットアップしてください。

注意 Windows NT 4.0と同時にセットアップするとき

Windows NT 4.0はインストール中にネットワークアダプタの設定が可能です。 Windows NT 4.0オペレーションシステムのマニュアルを参照しながら、このマ ニュアルの次ページからの手順 4A~8 を参考にインストールしてください。ドラ イバの選択では、"Laneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter"を選択してくだ さい。ネットワーク設定に必要なプロトコル、サービスなどはネットワーク管理者の 指示に従ってください。

コンピュータ本体の電源を入れる前に、PCIバススロットに本製品を取り付けて おきます。

- コンピュータ本体の電源を入れて、Windows NT 4.0を起動します。
 "Administrator"でログオンします。
 Windows NT 4.0が記動します。
- 2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉 ウィンドウで、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- 3 既存の環境によって画面AまたはBが表示されます。



一暫から選択(S)

? X

デシスク使用(H)

キャンセル

キャンセル



アダプタの選択画面が表示されます。

25





・ネットワークプロトコルを選択する画面が表示されます。

12 ネットワークで使用するプロトコルとサービスを選択します。

- ・はじめに、プロトコルを選択する画面が表示されますので、プロトコルを選択し、
 (ホヘ)
 (ホヘ)

13 Windows NT 4.0のオペレーションディスクのドライブ名とディレクトリ名を 指定します。

			ndows NT
しくつかの Windows NT ファイルを定くする必要があります。 セッドアッフは、次の場所でファイルを検索します。目前の場所を検 索させたし場合は、新しい場所を入力し、(統行)を例ったてくだ さし。 D#1386	VD Windows NT ファイルを叱 [*] ーする必要があります。 1よ、次の場所でファイルを検索します。日かの場所を検 2い場合は、新しい場所を入力し、(統行)を別ックしてくだ 5	あります。 焼行 いつ場所を検 をかっしてくだ キャンセル	F

・Windows NT 4.0のオペレーションディスクで"I386"ディレクトリを指定します。

14 指定が終われば、 続行 をクリックします。

・もう一度、インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。



プロトコルでTCP/IPを選択した場合は、	DHCPを使用するか、	選択の画面が表
示されます。		



- ・ご利用になるネットワーク環境に合わせて、 はい または いいの をクリックします。
- ・バインド等を変更するための画面が表示されます。





19 インストール完了 ます。	のメッセージが表示されますので、 🧰 売7	をクリックし
ネットワーク セットアッフ ウィザート		
	このコンビュータにネットワークがインストールされました。 ネットワークを使用するには、このシステムを両起動しなければなりません。	
・再起動のメッセ	ージが表示されます。	•

- **20** フロッピーディスクドライブから<u>フロッピーディスクを取り出し</u>、<u>「11100</u>をク リックします。

 - ・Windows NT 4.0が再起動します。
 - これで、本製品のWindows NT 4.0への導入は完了です。

ネットワークが設定されているときの手順

- すでにネットワークが設定されている環境へ本製品のドライバをインストールする場合について、26ページ手順 10 からの続きを説明します。
- 26ページの手順 10 の〈OEMオプションの選択〉画面で、"Laneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter"を選択し、 OK をクリックすると、 【アダプタ】タブが表示されます。

11	ネット	・ ワーク	アダプタ	に"LD-10	00/SX	Giga-Ether	Adapter"	と表示されてい	
	れ ば、	ドライ	バのイン	ストールは	まってす	f 。			

ネットワーク	? ×
識別 サービス フロトコル アダフタ バインド	
ネットワーク アダプや(<u>N</u>):	
III Laneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter	
	_
<u>這加(A)</u> 削除(B) 7°D^°F7(P) 更新(U)	

続いて、必要なネットワーク環境の設定をおこないます。【サービス】、【プロト コル】タブを選択し、実際の構成に合わせて設定してください。

ネットワーク 「識別」 サービス フロトコル [79739 [パインド]	? ×
ネットワーク サービス(N):	
 ■ Retolog * グランゴズ ■ Retolog * グランゴズ ■ フレビュータ フラクサ* ■ サール*ー ■ ワークステーション 	
追加(A)	
^{まだの分} Microsoft ネットワークのソフトウェア インターフェイスと名前付け規約を定義します。	



ネットワーク プロトコル()	Φ:		
NWLink IPX/S	コル SPX 互換トランスホ ^ペ IOS	-	
			東部の

14 J	、ての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の	閉じる をクリックします。 ·
	・ルック 小規模な LAN で使用するために設計された、ルーティング不可能なブロトコル です。	
_	FREE Survey	
	1910 S	

・ファイルのコピーが始まります。

Windo Windo	ows NT 4.0のオペレーションシス: ws NT 4.0の"エ386"ディレクトリを打	テムのCD- 指定し、	ROM 続行	を要求された場合 をクリックします。
Windows N	T セットアッフ [*] しくつかの Windows NT ファイルをコピーする必要があります。			
ef"	ゎ。レア。コウナ゙ンをの場所でコューノル素検売! まま リモヤンの場所を検	10/61 2		

	素させたい場合は、新しい場所を入力し、「統行」を列がしてくた 14-26ル さい。		
	D#1386		
15	ファイルのコピーが終わると、再起動のメッセージが表	長示されます。	
	ネットワーク設定の変更		
	新しい設定を有効にするには、コピュータを再起動する必要があります。 今ずぐコピュータを再起動しますか?		
	III III III		
	 フロッピーディスクドライブからフロッピーディス クリックします。 	<u>クを取り出し</u> 、	
	・Windows NT 4.0が再起動し、設定した内容が有効	になります。	

これで、Windows NT 4.0へのセットアップは終わりです。

$\bigcirc)$

その他のOSのインストール

本製品には、Windows 98 およびWindows NT 4.0 以外にも各種ネットワークOS に対応するドライバが付属しています。各ドライバのインストール方法については、付属のディスクにあるテキストファイルをご覧ください。

■付属ディスクの内容

(出荷時期により多少内容が異なることがあります)

Win2000	Windows 2000用ドライバ、 インストールテキスト ※1
win98	Windows 98 用ドライバ、INF ファイル、 インストールテキスト
win95	Windows 95 用ドライバ、INF ファイル、 インストールテキスト
Winnt	Windows NT 4.0用インストールテキスト
Ldgsxnd4.sys Ldgscnd3.sys	Windows NT 4.0用ドライバ
LdCfg.exe LdCfgDll.dll	コンフィグレーション用ファイル ※2
LdCdgD11.hlp Ldsxnd3.hlp	コンフィグレーション用ヘルプファイル ※2
Oemsetup.inf	情報ファイル

※1 Windows 2000の対応情報などが含まれている場合があります。
 ※2 Windows NT 4.0で本製品のプロパティを設定するときに使われるプログラムです。

●弊社ラニード・ホームページにて、本製品に対する最新の対応OS およびドライバのご案内をしています。

アダプタのプロパティについて

Windows 98(または95)およびWindows NT 4.0におけるアダプタのプロパ ティについて説明します。初期値は一般的に最適な状態に設定されていますので、 通常は変更しないでください。

Windows 98(または95)の場合

①[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンを開きます。
 ② 〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブで"Laneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter"を選択し、[プロパティ]をクリックします。
 ③【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

■〈詳細設定〉画面



DuplexMode

本製品はFull Duplex固定です。Auto Negotiateのまま変更しないでください。

NetworkAddress

本製品のMACアドレスをソフトウェア上で強制的に変更したい場合に、変更した いMACアドレスを入力します。MACアドレスの変更は、十分に知識のあるネット ワーク管理者の指示でおこなってください。通常は絶対に変更しないでください。

PermanentNetworkAddress

ソフトウェアで強制的に、MacAddressを変更します。通常は、ドライバのロード時にネットワークボードよりMacAddressを取得しますが、それ以外のMacAddressに変更したい場合に入力します。

●PHYInterface

物理層とのインターフェイスを選択します。通常はAuto Negotiateのまま変更しないでください。

Speed

Auto Senseのまま、設定を変更しないでください。

Windows NT 4.0の場合

 ①[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
 ② 〈ネットワーク〉画面の【アダプタ】タブで"Laneed LD-1000/SX Giga Ether Adapter"と表示されたアダプタを選択し、[プロパティ]をクリックする と、設定画面が表示されます。

Laneed LD-1000/SX Basic Propertiesタブの内容

ここでは、NetworkAddressの割り当てとアダプタの現在の情報が閲覧できます。

◆【Laneed LD-1000/SX Basic Properties】タブ

eed LD=1000/SX Gigs=Ether Adapter LD-1000/SX VLAN Properties LD-1000/SX Basic Properties	Configuration LD-1000/SX Diagnostics LD-1000/SX Advanced Properties ss
Adapter Information Connection Status Link Speed Duplex Mode Permanent Network Address Interrupt I/O Port Base Address Memory Base Address Boat ROM Silicon Revision Driver Revision VLAN Status IP Acceleration Status Connection Capabilities	Not Connected 1000 Mbit Half Duplex 00508A02F8BF 44 0x8000 0x0D0800000 Not Present 02 1.1 Active Inactive Inactive 1000 Mbit
OK キャンセ	ル 道用(企) ヘルプ

Locally Administered Network Address

この項目には、ローカルなNetworkAddressを割り当てることができます。グローバルなNetworkAddressを無効にするので注意してください。

Adapter Information

Connection Status	(Connected/Not Connected) コネクションステータスを表示します。
Link Speed	(1000Mbit) 伝送速度を表示しています。 本製品ではこの値は固定です。
Duplex Mode	(Half Duplex/Full Duplex) 伝送モードを表示します。本製品はFull Duplexのみ対応 しています。Full Duplex環境でご使用ください。
Permanent Network Address	本製品のUniversally Administerd Address(UAA)を表 示します。
Interrupt	(任意の番号) 本製品が使用している割り込み番号を表示します。
I/O Port Base Address	(任意のアドレス) 本製品が使用しているI/Oポートアドレスを表示します。
Memory Base Address	(任意のアドレス) 本製品が使用しているメモリアドレスを表示します。
Boot Memory	(Present/Not Present) 本製品にBOOTROMが搭載されているかを表示していま す。本製品は、BOOTROMをサポートしていませんので、 Not Present固定です。
Silicon Revision	本製品が使用しているEthernetコントローラチップのリ ビジョンです。
Driver Revision	現在インストールされているNDISドライバのリビジョン です。
VLAN Status	(Inactive/Active) VLAN設定がされているかを表示しています。
IP Acceleration Status	(Inactive/Active) 【LD-1000/SX Advanced Properties】タブの 「Jumbo Flame Support」をオンにしている場合に 「Active」を表示します。ただし、ネットワーク環境が Jumbo Flameを使用可能な状態になっている必要があり ます。
Connection Capabilities	(1000Mbit) 本製品がサポートしている伝送速度を表示します。

Laneed LD-1000/SX VLAN Properties タブの内容

◆ 【Laneed LD-1000/SX VLAN Properties】 タブ

Laneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter Configuration
LD-1000/SX Basic Properties LD-1000/SX Advanced Properties LD-1000/SX VLAN Properties LD-1000/SX Diagnostics
VLAN Table Maintance VLAN ID VLAN User Priority
4095 7 Insert
Modify
Delete
Set Default
VLAN Capabilities
Strip Inbound VLAN Tags To Enable VLAN Filtering To Enable VLAN Filtering
OK キャンセル 適用(益) ヘルプ

VLAN Table Maintance

●VLAN ID

0から4095(12bit)まで入力可能です。範囲外の数値を入力しても機能しません。

●VLAN User Priority

トラフィックタイプを設定します。0~7までの値が入力可能です。

7:予約	3:エクセレント・エフォード
6:インタラクティブ・ボイス	(クリティカル・アプリケーション)
5:インタラクティブ・マルチメディア	2:スタンダード
4:制御された負荷のアプリケーション	1:バックグラウンド
(マルチメディア・ストリーム)	0:ベスト・エフォード

●編集ボタン

Insert	VLAN Tableを入力します。
Modify	VLAN Tableを再編集します。
Delete	VLAN Tableを削除します。
Set Default	初期値に戻します。

VLAN Capabilities

•Strip Inbound VLAN Tags

Upper-Layerにパケットを送っていくときにVLANタグをフレームから外し、通常のフレームとしてそれらを送信します

Enable VLAN Filtering

VLANテーブルの一番上のみにVLANタグを挿入し、VLANフレームとしてそれ らを送信します。

Insert Outbound VLAN Tags

VLANテーブルにセットされた一番上の項目のみ、どのようなVLANフレームの 受信でも可能にします。

■その他関連事項

・パケットフレームにVLAN用ID情報(4バイト:VLAN-Type=2Byte、 VLAN-Tag=2Byte)を追加することができます。

(例) 81-00-00-05 : 81-00→VLAN-Typeの設定 : 00-05→VLAN-Tag

・ユーザのプライオリティを知らせることによって、本来MACプロトコルにある 機能にかかわらず、ユーザのプライオリティ情報をEND-TO-ENDで通信が可 能です。

·VALN情報のヘッダーを削除・追加する手順が定義されています。

Laneed LD-1000/SX Advanced Propertiesタブの内容

◆ 【Laneed LD-1000/SX Advanced Properties】 タブ

aneed LD-1000/SX Giga-Ether Adapter C	Configuration
LD-1000/SX VLAN Properties	LD-1000/SX Diagnostics
ED TODOVOX Dasic Troperties	
AutoNegotiate Link Parameters	Link Speed 1000 Mbit 💌
PHY Type Auto Detect 💌	🔽 Full Duplex
Minimum 800	Maximum Bytes
🗖 Jumbo Frame Support	

Link Parameters

Auto Negotiation Link Parameters

ここをオンにすると、接続環境を自動で設定します。オフにした場合は、下記の 項目が設定が変更できるようになります。

●Link Speed

伝送速度を固定で設定します。ただし、本製品では1000Mbit固定です。

PHY Type

物理層(PHY)のインターフェイスを設定します。ただし、本製品では「Auto Detect」以外ではPCSしか選択できません。

Full Duplex

全二重転送に固定します。本製品は全二重固定です。必ずオンにしておきます。

Packet Propulsion

パケット送信のしきい値を設定します。しきい値を高く設定するほど、より多くのCPUリソースを消費します。低く設定するほど、BUSリソースを多く消費します。

■Jumbo Frame Support

この項目をオンにすると、1フレームあたり最大9014byteのフレームを使用することが可能になります。ただし、接続先の機器がJumbo Frameをサポートしている必要があります。

Laneed LD-1000/SX Diagnosticsタブの内容

◆【Laneed LD-1000/SX Diagnostics】タブ

LD-1000/SX Basic Properties LD-1000/SX VLAN Properties	LD-1000/SX Advanced Properties LD-1000/SX Diagnostics
Local Tests Run Loopback Tests Run Internal Tests	Run Local Tests View Test Results
Test Progress	
Test	Status 🔺
Physical Layer Test	Not Selected
Interrupt lest	Not Selected
Built-in Self Test	Not Selected
EEPROM Test	Not Selected
	-
•	
Diagnostic Send-Receive Tests	Convex Activity
Run	Corver notivity

Local Tests

Run Loopback Tests

この項目にチェックボックスをオンにすると、下記の2項目のテストを実行できます。

Local Loopback Tests	Ethernetコントローラチップに対してのループバックテス トを実行できます。
Run Physical Layer	物理層(PHY)に対してのループバックテストを実行でき
Loopback Test	ます。

Run Internal Tests

この項目にチェックを入れると下記の6項目のテストを実行できます。

Control and Status Register TEST	Ethernetのチップファンクションとステータスレジスター のテストを実行します。
Physical Layer Test	リンク状態をテストします。イーサネットケーブルをHUB に接続した状態でテストしてください。
Interrupt Test	イーサネットボードが使用している割り込み番号に対して、 割り込み命令を出します。
Built-in Self Test	イーサネットボードのドライバが正常に動作しているかを テストします。
FIFO Test	FIFOモードでの転送テストを実行します。
EEPROM Test	イーサネットボードのEEPROMテストを実行します。

●[Run Local Test]ボタン

Run Loopback TestsとRun Internal Testsでチェックした項目のテストを実行します。テスト結果は「Test」ウィンドウに表示されます。

●[View Test Results]ボタン

今までに実行したテスト結果を表示します。結果の保存はSAVEボタンで行え、 TXT形式で保存されます。ClearボタンでTEST結果をクリアします。Doneボタ ンでウインドを閉じます。

Diagnostic Send-Receive Tests

本製品を搭載した2台以上のコンピュータ間で送受信テストをします。一台がサ ーバになり、そのほかのコンピュータはクライアントになります。[RUN]ボタン クリックすると診断テストを実行します。結果はテストの終了後に、自動的にロ グウィンドウを表示します。

こんなときは

共通のトラブル

●本製品をコンピュータに取り付けたところ、コンピュータ本体が全く 起動しなくなった。

現在のご使用中のコンピュータですでに使用しているIRQ、I/Oポートアドレスと本製品のIRQが競合しているか、コンピュータに本製品を使用するために必要なIRQの空きがないものと考えられます。コンピュータ本体のマニュアルなどを参考にして、IRQ、I/Oポートアドレスの空きを確保してください。

● LINKランプが点灯しない。

- ① HUBなどにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
 HUBに接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか?
 コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか?
- ② ケーブルの接続などに問題がない場合は本製品の設定を確認してください。
 Windows 98/95のコントロールパネルのデバイスマネージャや、Windows
 NT 4.0のイベントビュア等で本製品の動作にエラーが発生していないかを確認してください。

Windows 98/95/NT環境でのトラブル

● Windows 98/95でプラグ&プレイでセットアップしたが、本製品 を正常に認識できない。

お使いのコンピュータでIRQが競合しているか、IRQの空きがないことが原因 と考えられます。IRQに空きがないと、本製品をプラグ&プレイの状態でご使 用いただくことはできません。コンピュータ本体のマニュアルなどを読んで、 IRQの使用状況を確認してください。

・Windows 98/95上での使用可能なIRQの確認方法

[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]からコンピュー タのプロパティを見て、割り込み要求(IRQ)のボタンをチェックして一覧 で確認します。

・Windows NT上での使用可能なIRQの確認方法

メニューバーの[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[Windows NT診 断プログラム]を起動し、リソースのタグを選択します。一覧に表示されて いるIRQは他のデバイスに使用されています。本製品に割り当てることはで きません。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開く と「ネットワークを参照できません。」というエラーが表示される。

① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

・Windows 98/95上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法 [コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]から[ネットワー クアダプタ]をダブルクリックし、本製品のドライバが正常に動作している かを確認してください。また、[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス] の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし 本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

・Windows NT上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法 メニューバーの[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[Windows NT診 断プログラム]を起動し、【リソース】タブを選択します。一覧に表示されて いるデバイスのなかに"LD-1000/SX Giga-Ether Adapter"があれば本製 品は正常に動作しています。異常があれば、本製品の設定を確認し、一度ド ライバを削除の上、ドライバを再度組み込んでください。

② ケーブル、HUB、ターミネータなどを確認してください。 (現在、正常に動作しているケーブルがあれば交換してみてください。HUBの接続ポートを変更してください。)

③ 可能であれば、本製品を取り付けているPCIバススロットを変更してください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークを参照できない。もしくは、使用しているコンピュータしか表示されない。

- ネットワーク接続に必要なプロトコルなどの設定が、使用するネットワーク環境に合った設定になっているかを確認してください。
- ② [スタート]→[検索]の[ほかのコンピュータ]を起動し、ターゲットのコンピュータのコンピュータ名を入力し検索してみてください。

● Windows 98/95で「DHCPサーバーが見つかりません」と表示される。

このメッセージはエラー表示ではありません。使用しているネットワーク環境 で「DHCPサーバ」が存在しない場合に表示されます。DHCPサーバとは、 ネットワークプロトコルとしてTCP/IPを使用する場合、各コンピュータに必 要なIPアドレスを自動的に割り当てるサーバです(通常はWindows NT サー バやルータが設定によりおこなっています)。

Windows 98/95環境のネットワークでTCP/IPを使用した場合の初期設定 では「DHCPサーバ」を使用して、IPアドレスを割り当てるようになってい ます。使用しているネットワーク環境にDHCPサーバが存在しない場合や見 つからない場合に、上記メッセージが表示されます。実際にDHCPサーバを 設定していない場合は、このメッセージが表示されたとき、今後このメッセー ジを表示しないように、[NO]をクリックしてください。また、TCP/IPの設定 をおこなう場合は特別な知識を必要とすることもあります。IPアドレスの設定 がわからないときはシステム管理者に相談するか、TCP/IPのプロトコルを使 用しないでネットワークを構築してください。ただし、TCP/IPを使用しない 場合は、他のプロトコル(NetBEUIなど)を追加してください。

● Windows 98/95やWindows NTで本製品の設定をおこなった場合、フロッピーディスクまたはCD-ROMを要求されてしまう。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他に Windows 98/95またはWindows NT側で提供されるファイルも含まれてい ます。このような場合は、表示されるメッセージに従って、Windows 98/95またはWindows NTのフロッピーディスクかCD-ROMをドライブに セットし、そのドライブのパスを指定してください。

- 例① Windows 98/95のフロッピーディスクを使用する場合
 (Windows 98/95が要求している番号のフロッピーをセットして)
 A:¥
- 例② Windows 98/95のCD-ROMを使用する場合<CD-ROMのドライブ名>: ¥WIN95 または ¥WIN98
- 例③ Windows NTの場合 <CD-ROMのドライブ名>:¥I386
- ※Windows 98/95プリインストール(最初からインストールしてある)の機種に関してはパスの指定を c:¥Windows¥Options¥Cabs と変更してください。インストールできない場合は、コンピュータ本体のメーカーにおたずねください。

● Windows 98/95でネットワークに接続したが、ファイルやプリン タの共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライ ブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

 ① [ネットワークコンピュータ]→[プロパティ]→「ネットワーク構成の一覧」に 「Microsoft ネットワーク共有サービス」 が組み込まれているかを確認してく ださい。 組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のチェックボックスを

クリックしてチェックし、[OK]を押してください。

- ② 共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。
 - ・共有したいフォルダやプリンタで右クリックをしてメニューを表示します。
 ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」
 に変更して[OK]をクリックしてください。

● Windows NT 4.0で本製品を使用しているが、本製品の設定をマ ニュアル通りにしたが、正常に使用できない。

以下の原因が考えられます。

- ①00ページ [Windows 98/95/NT環境でのトラブル] の最初の2項目を参照してください。
- ②ネットワーク接続に必要なプロトコル等の設定が間違っている。 ・ネットワークに接続するためには本製品の設定以外にもプロトコルやサービス等の各種設定が必要となります。接続するネットワーク環境を確認してください。ネットワーク環境が不明な場合はネットワークの管理者に相談してください。

サポートサービスについて

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンター へお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、 FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受 けるためには、ユーザ登録が必要です。10ページをお読みになり、必ずユーザ登録を行ってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL: 03-3444-5571 FAX: 03-3444-8205

受付時間: 月~金曜日 10:00~12:00 13:00~17:00 (夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます) ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット http://www.elecom-laneed.com

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます) 559900

電話番号

東京: 03-3940-6000 大阪: 06-6455-6000 名古屋: 052-453-6000 福岡: 092-482-6000 札幌: 011-210-6000 仙台: 022-268-6000 広島: 082-223-6000

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記までご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町4-19 セキエレクトロニクス株式会社内 エレコム修理センター 電話番号 03-5950-4410

電話受付 月曜日~金曜日 10:00~12:00 13:00~16:00 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

・このマニュアルの41ページ「付録1.こんなときは」をお読みになりましたか。 まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。

・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。

・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コン ピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックでき ますので、解決しやすくなります。

·FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容 をご記入ください。

基本仕様

商品名	1000Mbps PCIバスGigabitイーサネットボード
製品型番	LD-1000/SX
メディアタイプ	1000BASE-SX
コネクタタイプ	2連タイプSCコネクタ
伝送速度	1Gbps (本製品はFull Duplex固定のため2Gbps)
ケーブル規格	IEEE802.3z
対応バス	PCI/XZ
割り込みレベル	自動設定
1/0ポートアドレス	自動設定
LED	LINK(黄:リンクの確立)、1000M(緑:伝送速度)、 FDX(緑:Full Duplexでの接続)、Tx/Rx(緑:データの送受信)
適合規格	FCC Part 15 Class B、CEマーキング、VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	3.3V / 7.8W
動作温度	0~50°C
動作湿度	5~95%(結露なきこと)
形状寸法	176×95mm
対応機種	IBM PCおよびPC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NXシリーズで以下の条件を満たすもの(自作機および同等のものは除く) ・PCIバスを標準で装備し、IRQに空きがあるもの
対応OS	Windows 2000(対応予定), Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0
付属品	ドライバディスク1枚、ユーザーズマニュアル、ユーザ登録カード、保証書

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ: 使用しているOS: 使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番): ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成: ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等):

●具体的な現象について

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

Gigabit PCIバス イーサネットボード LD-1000/SX ユーザーズマニュアル 発行 エレコム株式会社 2000年2月3日 第1版 LD-1000/SX

Laneed ELECOM